

平成30年度第4回看護研究倫理委員会議事要旨

日 時 平成30年 7月 9日 (月) 16時15分～19時35分

場 所 看護学科棟1階 N102室

出席者 ■内田委員長 ■小笹委員 ■若崎委員 □竹本委員 ■大矢委員
□石橋委員 ■飯塚委員 ■安藤委員 ■三代委員 ■阿食委員
(■が出席, □が欠席を表す)

委員以外の出席者 申請者 (福間准教授, 野村院生, 三代院生)

- 本委員会は, 本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条の規定に基づく5名以上の出席を得て成立した。
- 平成30年6月開催の平成30年度第3回看護研究倫理委員会議事要旨を了承した。

議事

1. 看護研究申請書の審査について

- (1) 課題名: 在宅で清潔間欠的自己導尿を行っている患者の排尿管理および困りごとと看護師による支援状況との関連

・・・・・・資料1

内田委員長から, 資料1のとおり福間准教授より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の福間准教授から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果, 委員会で指摘のあった事項について修正することとし, 本件申請について承認することとした。

- (2) 課題名: 全身麻酔下内視鏡手術を受けた患者の手術直後からの身体的苦痛症状の実態

・・・・・・資料2

内田委員長から, 資料2のとおり野村院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の野村院生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果, 社会的に弱い立場にある者への特別な配慮に欠け, 研究対象者に過度な負担を強いる研究であること, 調査内容が科学的合理性に欠け, 学術的意義を有する研究とは位置づけられない等, 倫理指針を遵守できていないと判断し, 不承認とすることとした。

- (3) 課題名：小児看護に従事する看護師の患児の母親に対する共感に影響する要因

・・・・・・・・資料3

内田委員長から、資料3のとおり三代院生より申請があったので審議願いたい旨の説明があった。

続いて申請者の三代院生から研究の概要等についての説明及び各委員から質疑等があった。

引き続いて審議の結果、「研究課題名の定義」「概念の枠組みや研究デザイン」等について、さらに明確にする必要があること、「対象者の選定や設問項目」について、再考する必要があることから、保留とすることとした。

2. 報告事項

○審査結果について

- 1) 申請者：基礎看護学講座 助教 坂根 可奈子

課題名：“良好な服薬アドヒアランス”に対する医師・薬剤師・看護師および患者の認識

審査結果：承認（平成30年6月11日付け）

○審査結果（迅速審査）について

- 1) 申請者：医学系研究科看護学専攻 院生 林 倫可

課題名：看護師の臨死期ケア後の対処と精神的健康状態との関連

審査結果：承認（平成30年6月25日付け）

3. その他

- 次回の看護研究倫理委員会について、平成30年9月10日（月）16時15分から開催することとした。